

滋賀県立総合病院との連携、健康医療情報コーナー

滋賀県 守山市立図書館

基本データ

| | |
|--------|---------------------------------|
| 所在地 | 滋賀県守山市守山五丁目 3番17号 |
| 職員数 | 21人 |
| うち司書数 | 19人 |
| 蔵書数 | 342,755冊 |
| 利用登録者数 | 78,955人 |
| 年間貸出冊数 | 651,475冊 (児童用図書貸出数 254,539冊) |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- (1) 入院や通院中で、図書館になかなか来館できない人に対して本を貸出し、読書によって安らぎを得られるようサービスを提供する。
- (2) (3) 図書館という場の特性を生かし、医療に関する様々な情報を、専門家による窓口を組み合わせ、サービスとして情報提供する。

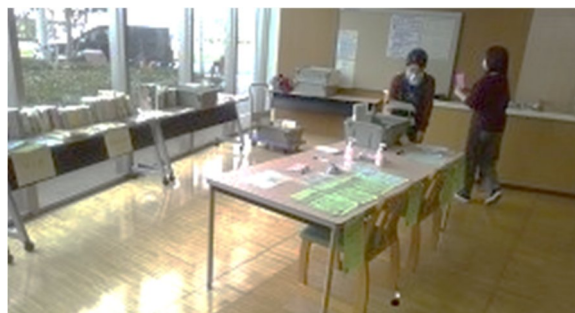
取組・活動の概要

(1) 滋賀県立総合病院・移動図書館

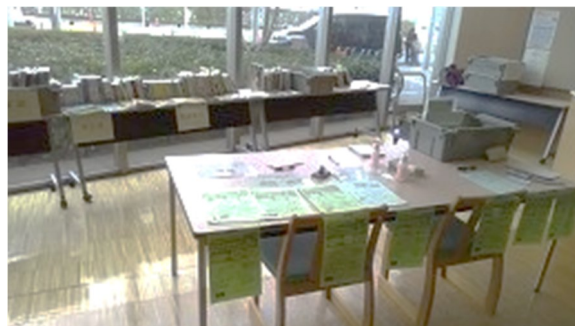
- 平成31年2月に締結した「守山市と滋賀県病院事業庁との連携・協力に関する協定」に基づき、月1回、病院への出張貸出を実施している。
- 守山市民や広域住民のほか、病院に入院・通院している人、またその付き添い家族に対して、その場で貸出カードを発行する。
- 実施日の前に、入院している人が楽しめる本約300冊程度を選本する。当日は、軽自動車に積んで運び、正面玄関のロビーにて午後2時から午後3時30分まで貸出を行う。
- 病院内では、ポスターの掲示のほか一日に数回館内放送により広報を行っている。
- また、5月には病院の行事「オープンホスピタル」に伴って、絵本の読み聞かせを実施した。

【実績（平成31年3月から）】

| 実施日 | 貸出人数（人） | 貸出冊数（冊） |
|-------|---------|---------|
| 3/13 | 13 | 33 |
| 5/19 | 1 | 2 |
| 6/21 | 13 | 56 |
| 7/19 | 13 | 42 |
| 9/20 | 11 | 29 |
| 10/25 | 9 | 28 |
| 11/22 | 8 | 38 |



移動図書館



移動図書館

(2) がん相談支援センターとの連携

① 出張相談

- 平成26年11月より開始。月2回、図書館を会場にがん相談支援センターの専門スタッフががんに関わる様々な相談に応じる。

【実績】

| 実施年 | 相談人数（人） |
|-------|-----------|
| 平成26年 | 6 |
| 平成27年 | 5 |
| 平成28年 | 3 |
| 平成30年 | 0 |
| 令和元年 | 7（11月末現在） |

（平成28年9月から平成30年10月までは図書館改築のため休止）

②がん教室「まなびや」

- 令和元年度より実施。毎月、滋賀県立総合病院内で実施しているがん教室を年2回、図書館を会場に開催する。
- 総合病院の医師が、病気や予防のことなどについてわかりやすく講演を行う。また、合わせて相談会を開催する。

【実績】8月21日「がんの予防と検診」8名



がん教室「まなびや」

(3) 健康医療情報コーナー

- 図書館2階開架室に設置。
- 平成30年11月の新館開館時よりサービス開始。医療に関する一般書・専門書のほか、医療に関するパンフレット・チラシ類、地域の医療機関に関する情報を収集し、提供する。



健康医療情報コーナー



健康医療情報コーナー

取組・活動の工夫や特徴

(1) 滋賀県立総合病院・移動図書館

- 総合病院に入院している層を把握し、雑誌・コミック等も含め、さまざまな資料が提供できるように選本を工夫している。
- また、本の返却についても図書館に返却するだけでなく病院内にブックポストを設置しいつでも返却できるよう利便性を高めている。

(2)(3) の取組

- 滋賀県公共図書館協議会のワークショップをきっかけに、がん相談支援センターとの連携が始まった。定期的に打合せを行いながら、図書館と支援センター、双方の情報を求める人に多様な医療情報を提供している。
- 図書館に来館される方にサービスを知っていただけるよう掲示や放送での告知を実施している。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 滋賀県立総合病院・移動図書館

- 広域以外の利用者にも利用が広がっている。
- また、守山市民であっても「体調等により図書館に行く機会がなくなってしまったが、また本を借りられるようになった」と喜びのお声をいただいている。
- 今後、広報の場を増やし、サービスが定着するよう取り組みを進めていく。

(2)(3) の取組

- (2)(3) がん相談支援センターの存在を初めて知ったというお声や、図書館に医療に関する資料がたくさんあって助かるというお声を戴いている。
- より充実したサービスとなるよう資料の収集を進めるとともに、市民への広報を続けていく。